

第3回環境保全推進計画部会で出された意見

資料1－1

No.	計画ページ	意見	修正案
1	2	p2からp3への流れが、地球規模の水循環から千葉市の水環境へと話が飛びすぎていることが原因なので、イラストの修正と併せて湧水保全の重要性について文言を追記したらどうか。	中村部会長と文章表現について協議し、加筆修正しました。
2	14	生活排水対策の具体的対策がよく分かるよう、表現(文章の構成や内容)について、修正して欲しい。	高度処理型浄化槽への転換や下水道への接続指導について記載を追記しました。
3	14	啓蒙活動⇒啓発活動に変更して欲しい	ご意見のとおり修正しました。
4	28ほか	地下水の採集⇒採取ではないか	ご意見のとおり修正しました。
5	資料編(新規)	湧水の湧き方について資料に記載するとよい	第3回部会時の湧水の資料に、湧水の種類について追記し、本編資料編に追加しました。

パブリックコメント中 部会委員意見

No.	計画ページ	意見	修正案
1	9	「千葉市の原風景であり多様な生態系を有する「谷津田の自然」は、----」を 「千葉市の水源域にあって、その原風景の生態系を伝える「谷津田の自然」は、-----」にする。	以下の文章に修正 「千葉市の水源域にあって、その原風景の生態系を伝える「谷津田の自然」は～」
2	9	今後の谷津田の自然の保全に対しては、要綱で定めたもっと具体的な取組目標を入れるべきではないか。	今後策定を目指している生物多様性地域戦略の中で検討して参ります。
3	9	「これからは(仮称)水環境保全委員として---」は、明快に 「平成29年4月からは水環境保全員として---」とすべきではないか。	原稿の浄化推進員の任期が、平成30年度末までであり、又正式な名称が決定していない事から、「(仮称)」は残すこととします。
4	23ほか	(仮称)水環境保全委員の「(仮称)」は除くべきではないか	名称についてはまだ決まっておらず検討していく必要があるため、「(仮称)」はそのまま残すこととします。
5	11~13	BOD、COD溶存酸素、全リン、全窒素、流量データについて 地点間の比較をしやすいため、縦軸の表示範囲および間隔ができるだけ統一したほうが望ましい。	ご意見を踏まえて、表の修正を行いました。
6	15	13行「地下水汚染のうち、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素...」 確か水質分析項目には亜硝酸性窒素が入っていますが、実際にこれまで地下水からそれが検出されたでしょうか。もし検出されなかったら、その表現を削除しても良いではないでしょうか。 ちなみに、アンモニア窒素が検出されたでしょうか。	検出されるのは硝酸性窒素が主で亜硝酸性窒素はほとんど検出されていませんが、項目としては、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」となっていますので、「亜硝酸性窒素」の文言は残します。 アンモニア性窒素は測定項目にありませんが、亜硝酸性窒素がほとんど検出されていないことから、アンモニア性窒素の検出もほとんど無いことが推察されます。
7	17ほか	かん養、かん養域の注釈	以下の文章に修正 「雨水が土壌に浸透し、地下水が補給される場所のことをいいま
8	20	5行「…を通して、水、水を育むみどり、…」 「水、」が不要	以下の文章に修正 「～森と印旛沼とのつながりを通して、水を育むみどり、そこに棲む生きものによって構成される豊かな環境の実現を目指します。～」
9	20	16行「水循環をとりまくもの(森・農地など)」 このページには地形要素の記述が欠いています。よって、千葉市の状況を考えて、水循環をとりまくものに台地を加えたほうがいかがでしょうか。	以下の文章に修正 「水循環をとりまくもの(台地・森・農地など)」
10	25-30	「具体的な取組」との表記であるが、その前の「取組の方向性」とほとんど同じレベルの記述であり、具体性に欠ける。したがって、表記はすべて「取組」にすべきではないか。	以下の文章に修正 「具体的な取組み」→「取組内容」

11	31	谷津田のところの絵を、3ページの図を参考に谷津田らしくする。	ご意見を踏まえて、修正を行いました。
12	41ほか	BOD濃度の図について 地点間の比較をしやすいため、縦軸の表示範囲および間隔ができるだけ統一したほうが望ましい。	ご意見を踏まえて、表の修正を行いました。
13	135	大学・研究機関の役割(1)「-----助言することで、市との連携に努める。」は「-----助言する。」	今回は主にデータや指標の変更を目的としており、大きな役割の変更や新たな目標の設定については、次期計画までに検討します。
14	135	大学・研究機関の役割(2)(2)「----, 地域生態系の保全に関する研究手法の開発に努める。」 は 「----, 地域生態系の保全及びその手法に関する研究を推進する。」	以下の文章に修正 「台地・森林・谷津田等における自然と人との暮らしの調和及び地域生態系の保全に関する研究を進める。」
15	135	下から4行「谷津田等…」 「台地・森林・谷津田等…」に書き換えたらいかがでしょうか	以下の文章に修正 「台地・森林・谷津田等における自然と人との暮らしの調和について研究を進め、～」
16	136	市の役割「----努めます。」はすべて「を実施します。」や「おこないます。」あるいは「-----ます。」にすべき。	以下の文章に修正 「水環境の保全・創造に関する情報の収集・提供を行います。」 「～専門的見地からの視点を取り入れます。」 システムの構築については、No.13と同様の理由により次期計画までに検討します。
17	140	「外来生物から水環境を守れ！！」 水環境の悪化を外来生物が原因と仕立てる表現はまずいので、これは削除する。 コラムのタイトルは「特定外来生物による被害を防ぐ取組」だけでよい。	ご意見を踏まえて、タイトルを「特定外来生物による被害を防ぐ取組み」にしました。
18	154	特定外来生物 以下の文章に差し替え。 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で定められた生物で、「海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物(その生物が交雑することにより生じた生物を含む。))であって、生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるもの及びその器官。」	説明を以下のとおり差し替え 「「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で定められた生物で、「海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物(その生物が交雑することにより生じた生物を含む。))であって、生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるもの及びその器官。」と定義されている。」